

IZUKU × KATSUKI



Not equal

FOR ADULT ONLY
R18

IZUKU × KATSUKI



キ
ツ
ク
イ
ズ
ク


Not equal

FOR ADULT ONLY
R18

ノットイコール

NOT ≠ EQAL

- ・全面戦争前、黒種訓練をしている頃の出勝
(29巻掲載の頃)
- ・両片想いからのハッピーエンド



人生は
恋より友情の方が難しい
なんて本当だろうか

そのどちらか
もしくは両方
いや

君の全てが
欲しいとしたら

あの日の僕は
多分どうかしていた



訓練後 皆が去った
体育館の隣の部屋で
僕は一線を越えた





あの日はいつも通りの
1日だった

かっちゃん…

はあ
はあ…



何故か文句もいわず
僕の訓練に
付き合ってくれて



何故か、僕の事を
体育館の隅から
哀しそうな目で
見つめていた君



はーッ

はーッ

そんな君との
ごく普通の一日

空中だと
黒鞭使って
「掴む」感覚って
まだ難しくて…

かっちゃんばさ
爆破の大きさや精度の
コントロールって
どう感覚掴んでるの？

あほか
んなの勘だら
勘！

喧嘩もしてないし
僕を妾に期待させる
ような行動も、
君はしてなかった

例えば、
…こう！

んー君は簡単に
言うけどさあ

手とは違うし
こういう動きって
勘で理解するの
難しいんだって！

グ
イ
ッ



これがきっかけ

気が付いたらキスして
かつちゃんの身体まさぐって
服を脱がして犯してた

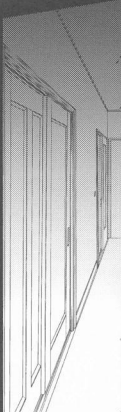
ねえ
かつちゃん

場所…
変えたいん
だけど

あ

あ

あ





ちよつと触れたら
中に欲しがって
すぐイクし
べそべそ泣いて
何も言って
くれない癖に

喘ぎ声だけは
出すんだよな



明け方
君は帰って行った



僕の事、テクとすら
呼んでくれないまま

ず...くッ





一方的にあんな事して…
僕には、かっちゃんを
自分の物みたいに考える
権利も、嫉妬する権利も
ないのに



デク君
どうしたん？

な！何でもない
ちよつと考え事
してた…ごめん

麗日さん僕
ちよつと図書室
行つて来るね



訓練に役立ち
そうな本があるのを
思い出したから



…「空中での
姿勢制御解説」

「ロボット遠隔操作技術と
個性コントロール」





でも…



この手が君の肌に触れた瞬間
自分でも驚く位、君に飢えた



課題は山程あるんだ
冷静にならないと…



いつの頃からか…

僕は君の身体を
知っている
つもりになっていた

鍛え上げた筋肉
滑らかな肌

形状・質感
記憶に叩き込んで
「見慣れた」といっても
いい位

でも視覚と記憶に比べ、
触覚・粘膜の直接的な感覚は
理性の全てを吹っ飛ばす位
かつちゃんを感じる事が出来て
…気がついた



君の都合なんて考えもせず
身体を貪るのに夢中だった



僕：
かっちゃんの
身体に

ちゃんと触れるの
はじめてなんだ

生々しさに
自分の血が湧いた



止める事なんて
出来なかった





ちゃっ

てめえ
どういふつもりだ

俺をどうしたくて
あんな事やった

君は…
どう思ってるの



カッ
カッ



へ？

君が、僕の
意見を聞く？

天変地異でも
おこるのか？



俺の事は
どうでもいい

てめえの
考えを言えや

一方的に
やったん
てめえだろ



面倒くせえ
言い回しすんな!

いいから
言えや



僕…は

僕は君が、
かつちゃんが
…好きで

あんな事したっ
てのは、つまり…
…何というか



じ、じゃあ、君は
僕が君をどう
思っていたかを
知りたくて

それによって
何かを決めても
いいって思っ
てる事だよ

…むしろ昨日の事はそう
嫌じゃなかったって事?



まず、僕は君と
ちゃんと友達に
なってる…

はあ?

ざけんなてめえ
友達だと?

いや!
だから…



ハッ

ん？

かっちゃ...

ズズズ

グイッ

ハッ

ハッ

んん...

ん...

...え

何？



ハッ

勃ってんじゃ
ねエか

てめえ友達相手に
勃つんかよ

それとも俺を
セフレとでも
言いたいんか？

何？





ざまあみろ

はっ

はっ

はっ

え...

はっ

もう俺じゃなきゃ
駄目なんだから



僕はその日なぜか
一人泣いた



そんな自分を僕は
自分勝手だ、と思った



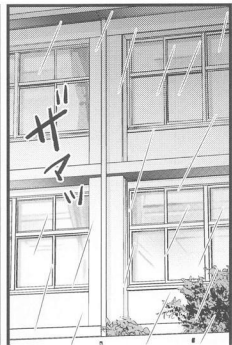
その日から
僕は



足りなければ
皆が寝静まる頃
僕の部屋で
続きをした









はよやれや!
…てめえ俺を
舐めてんのか

そんな事
ないけど

かつちゃん
する前に
話をしようよ
僕…



僕は何度も
優しいキスをした

しつけれえ…
なあ!

もう誰も来ねえし
雨は大ッ嫌いだ
デク!



僕は君を

大事に
したいんだ



大事に?!

どの口が
言ってるんだ

じゃあなんで
いきなり俺に
手出した
てめえ ああ?





まただ…
これ

それは…
君が

抵抗しない理由を
言わないのと
同じじゃないの？

…理由が
わかんないんだよ

インターンも
一緒だったのに
…ずっと僕達
距離があっただろ

なのに今頃、色々
手伝ってくれて
挙句僕に身体触らせて
セックスまでしてる

…なのに
なんで、

何故、僕の手を
跳ね除けるんだ
君は



…ようやく？
僕が、何？



お前が！
何言っても
解んねえ奴
だからだろが

俺がお前に何度
本音さらけ出して
ぶっかったのに
スカされてきたか

そんで、ようやく！
ようやくだろが
なのになんで
てめえは…！！



あの手に
触られると
全身が跳ねた

心と身体が
興奮して
血が湧いた

理由が、
嫌悪と逆だと
気づくのに

そう時間は
かからなかった



だから
これ以上

触られたく
なくて
跳ねのけた

「出久が
欲しくて
仕方ない」

そんな
自分が嫌で
閉じ込めた



認めるには 心が拒むから

君が僕の手を
はねのけるのが
嫌だった

本当に
嫌だった

ずっと君を
真正面から
受け止めず

自分の気持ちを
さらけ出さ
なかったのは

本音を話して
君に拒まれたら
生きては
いけないから



なのに君は
信じられない位
僕の近くに
いてくれて

抑えた
気持ち
が
沸騰した

あの瞬間、
君が僕の手を
払った時

僕は君を
逃したくなくて
捕まえた



言葉では必ず すれ違うから



僕達はその時

ああするしかなかった

ああするしか、なかったんだ

…
ツ

出久



クソデク

…んだよ

僕とかっちゃんは
長い間、何も
言わなかった

ぼろぼろ
零れる涙

バタバタと
天井と
窓を叩く雨

僕らの間に
繰り返す
静かで小さな音

君が
好きだ

好きだったんだ
ずっと

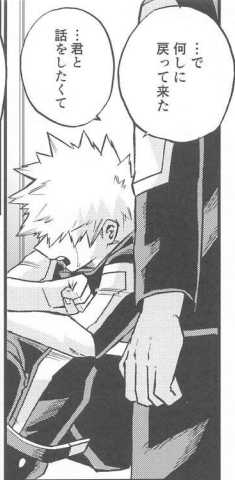
…君が呼んだ
気がして



いや、正確には
どう話していいか
わからないし

僕達に
話し合いなんで
出来る気が
しないんだけど

それでも、何も
言わないのも
嫌だから！
戻って来た



…で
何しに
戻って来た

…君と
話をしたくて



は
—
…

グシ

…言えや



…君は、
僕にとって
特別なんだ。



それが僕の言う
友達



何かして失うなら
何もしないを
選びたい位、特別

つまり、
君という存在を
失いたくない
…が僕の最優先

君の成長や
日々の努力は
そっと僕だけが
感じていたいし

周りを引っ張る
言動や心の強さ
激しさは、みんなと
一緒に一番近くで
見ていたい



でも僕は何より君の事が好きで触りたいし…

心も身体も欲しいから！君も僕が特別であればいいなと思うから！

それを表現するのが恋人であるなら恋人でもありたい



あ、だから！

で?!



僕にとってさ、友達と恋人ってのは比べるものじゃないんだ

ヒーローとしても切磋琢磨しあえる関係でいたいし

正直をいうと友達・恋人・ヒーロー全部の君が全部欲しい

だからそれぞれの関係をちゃんと高めて、進み切った先で…

そのままの君がずっと僕の隣にいてくれたらいいなと思ってる…君は？



ぎゅ。

俺はてめえ
とは違つて
シンプルだわ

聞きたきや
来いや



俺は！
お前が俺だけの
ものになつて

1番の俺を
てめえがいつも
世界で1番
欲しがったら
いいつて思つてる

友達だの
恋人だの、

他に代わりがいる
かもしれねえような
関係に収まるんは
全部お断りだ



やっとわかったか
バカタレ

なるほど：
なんか色々を
腑に落ちるといっ
自分を省みる
というか：

へほ
へほ
へほ



形だけの
約束したって
どうせ

てめえは自分の
運命・都合、最優先で
生きてくんじゃろオ？

誤魔化した
キスとか
気遣いとか
俺には
いらねんだよ

滅茶苦茶なてめえも
ひつくるめて
全部漏れなく完璧に
受け止めたるから

半端しねえで
全部見せろや



なあ
緑谷出久



デクッ

ン...

ズッ

ン...

ズッ

ズキッ

ズキッ

?!

生意気

話し合いは下手だけど

君がどうして欲しいかどう動きたいか

戦闘とかセックスなら何も言わなくてもわかるんだ







散々好き勝手
してるやつ
言う台詞か、それ

はあ……

それと！
君がフルネームだけど
僕の名前呼んでくれたの
小さな頃以来で……
セックス出来たのも
よかったけど

傷とか！
ついて欲しく
ないんだよ
いや、君なら
なんだって
素敵だけど



そんな時も
来るんだなあって
嬉しくなった



んだよ

あ
いや……
君の身体が綺麗で
見惚れたというか
大事にしたいな
って



……それ以外にも
色々てめえには
言いたい事がある

ええ…僕
何かした？

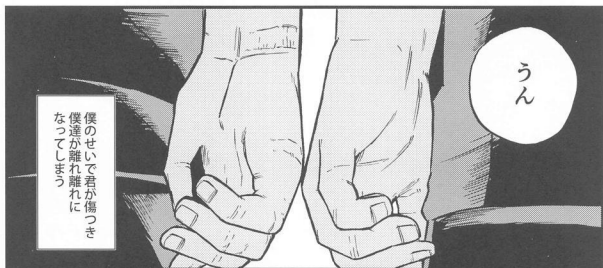
そういうん
じゃねえわ！
俺はなあ
デ…

…いや
今はいい

これはこの先
訪れる全面戦争で

いつか
上手く言える時に
ちゃんと

てめえに話すから
聞ける範囲で聞けや



うん

僕のせいで君が傷つき
僕達が離れ離れに
なってしまう



そのほんの少し
前の話

ノットイコール
NOT ≠ EQAL

END

読んで頂きありがとうございました。
久しぶりに出勝だけ・恋愛事だけの
全面戦争前時間軸の出勝を描きました。

お互いを見ながら彼らが彼ららしく
ズレたりすれ違ったりぶつかったりしながらも
お互いが大好きな出勝を描くのが大好きです。

ノットイコール
NOT ≠ EQAL

発行日：2024年3月17日

発行：GiftKuchen

著者：シトリ

MAIL: gk.sitri@gmail.com

pixivID=3200050/ X =giftkuchen_str

印刷：あかつき印刷

この本は同人誌です。
オークション禁/無断転載(アップロード含)禁/関係者禁
不要の際は中古同人誌ショップかごみ箱へ



NOT[≠]EQUAL

2024.03 GiftKuchen Sitri